

第3期中期目標期間の業務実績等報告書  
(令和2年4月1日～令和6年3月31日)

令和6年6月  
地方独立行政法人府中市病院機構

大項目2「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」

中期計画に定める中項目

- 1 市民病院として担うべき医療
- 2 病院の役割に応じた医療機能の確保
- 3 地域医療の促進に資するICT技術の活用の検討

	毎年度の大項目評価				中期目標期間評価	
	令和2	令和3	令和4	令和5	見込まれる評価	期間実績評価
自己評価 ※自己評価は小項目ごとに実施			○	○	○	○
市長評価	○	○	○	△	○	○

(評価基準) ◎：年度計画を上回って実施 ○：年度計画を順調に実施  
△：年度計画を十分に実施できていない ×：年度計画を大幅に下回っている

実績（取組、成果、課題等）及び評価の理由	府中市評価の特記事項
<p>【中項目1 市民病院として担うべき医療】</p> <p>両病院は公的医療機関の役目を果たすため、病床、診療科、救急医療、へき地医療など、その医療機能を変えることなく、地域住民への医療を継続しました。また、健診など市の保健事業が実施できる体制を維持しました。</p> <p>両病院とも、外来、入院患者数について、令和2年度は目標達成に近づいていたが、令和3年度以降はコロナ禍により減少傾向が続いている。特に、令和4年度に見えてきた、府中北市民病院の医業収益の減少傾向に対しては、令和5年度の効果的な対策として給与費の削減に取り組み、病院内の全職場の職員配置の検討と看護部の業務見直しに取り組みました。また、令和6年度に向けて臨時職員賃金の約4割削減を目標に取り組みました。</p> <p>両病院は、これからも地域に必要な医療を提供できるよう努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療対策          &lt;府中市民病院&gt;救急車受入件数は、救急科常勤医師の着任により目標を大きく上回る。          &lt;府中北市民病院&gt;救急車受入件数は、毎年度増加し目標を達成しています。</li> <li>・災害時における医療対策          両病院とも、防火訓練については定着している。          &lt;府中市民病院&gt;防災・災害対策訓練の継続的な実施が出来ている。防災備蓄品については、目標数値には達していないが備蓄は確保できています。          &lt;府中北市民病院&gt;防災・災害対策訓練ができておらず、今後は府中市民病院の実施方法を参考にし実施します。防災備蓄品については、目標数値には達成しています。</li> <li>・へき地医療対策          &lt;府中市民病院&gt;巡回診療の患者数については、毎年度増加しており目標を達成している。府中北市民病院への内科常勤医師の派遣については、令和4年度末に当該医師が退職し令和5年度からの常勤医師派遣はできなくなりましたが、週1回の非常勤医師派遣で対応しています。なお、府中北市民病院には、令和5年度より初めて県から自治医1人が派遣されています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●救急車受入件数は目標を達成するとともに、両病院とも各年度常に一定程度の受入割合を保っており、地域の救急医療機能の維持に寄与している。</li> <li>●防火・災害対策訓練や備蓄品確保に不足が見られる状況が続いており、近年の多発する自然災害を意識し、自らが策定した計画の着実な実施に努められたい。</li> <li>●へき地医療拠点病院として無医地区等への巡回診療の実施や、府中北市民病院への内科医師派遣による診療体制の維持に努めているので、今後はへき地医療支援病院との連携をさらに強化するよう努められたい。</li> </ul>

・周産期医療対策、小児医療対策

＜府中市民病院＞婦人科常勤医師 1 名による診療、健診を継続している。常勤医師を中心に院内多職種による「女性予防医学チーム」を令和 3 年度に立ち上げ、令和 4 年度には市の保健事業と連携した講演会の開催など、市民への情報発信に取り組んでいる。小児科については、広島大学病院からの非常勤医師により、平日の外来診療を継続しています。

＜府中北市民病院＞婦人科及び小児科を担当する医師が、上下町内の社会福祉法人に勤務することになり、令和 3 年度から外来診療日が週 2 日の午前中のみとなりました。将来的な上下地域での婦人科、小児科の医療提供体制を検討する必要があります。

・在宅医療と介護等の連携体制

＜府中市民病院＞令和 2 年度に在宅部門の組織的な充実を図るため、地域包括支援センター長に常勤医師を配置しました。訪問診療、退院時カンファレンス実施率は目標達成していますが、その他の指標は目標達成していません。関係部署の人事異動など、組織的な対応を行います。

＜府中北市民病院＞常勤医師の増員ができず訪問診療の目標は達成できませんが、訪問看護、訪問リハビリは目標を大きく達成しています。

●両病院において、婦人科及び小児科診療の維持や各種検診の実施など、地域に必要な医療の提供に努めている。

指標に係る数値目標には達しなかったが、「女性予防医学チーム」による市の保健事業と連携した活動など、数値に表れない活動に取り組んでいる。

●市内で不足する婦人科や小児科の常勤医師の確保に向け、引き続き市と連携した医師の招へいに取り組まれない。

●数値目標を達成できなかった項目もあるが、全体として在宅生活支援にしっかりと取り組んでいると評価できる。

●特に府中北市民病院はサービス付き高齢者向け住宅の整備や近隣の訪問介護事業所休止に伴う利用者受入など、上下地域の地域包括ケアの拠点機能を担っており、サービス付き高齢者向け住宅は、整備前に目標設定していた入居率 85% を達成し続けている。引き続き、地域のニーズに応じた受入の促進や、一層のサービスの向上に努められたい。

・健診等の実施による疾病予防の推進

病院が健診等の受け入れ態勢を拡大することができず、またコロナ禍もあり受診者数は横ばいで目標達成できませんでした。受診者の目標数については、市と調整が必要です。

【中項目2 病院の役割に応じた医療機能の確保】

広島県地域医療構想を踏まえた(1)病床の機能の分化及び連携の促進(2)地域包括ケアシステムの確立に向けて、両病院の検証を行いました。検討結果については、令和3年度に市へ概要を報告しました。また、総務省から全国の公立病院に求められていた「公立病院経営強化プラン」については、地方独立行政法人における「公立病院経営強化プラン」となる第4期中期計画を令和5年度中に策定し、市長の認可を経て、令和6年3月22日に法人のホームページで公表しました。

・市民病院の今後のあり方

両病院は、福山・府中二次医療圏の北部（府中地区）の医療提供体制を維持するため、地域に必要な病床、診療科を確保します。また、両病院の基本的な考え方は、民間で十分提供できない医療を積極的に行うことで、地域の医療提供体制における公的病院としての役割を担います。

府中市民病院と府中北市民病院は、府中市の南部と北部に立地し、両病院間の距離は約30km、車での移動時間は約40分かかります。このため、日常的な医療連携は距離的にも移動時間的にもそれぞれ診療圏域の医療機関と連携しています。両病院は、それぞれの診療圏域における地域完結型の医療提供体制の維持に努めます。

・今後の地域医療連携の方向性は、両病院それぞれの診療圏域における地域包括ケアシステムの構築に向けて、広島県地域医療構想及び市の高齢者保健福祉総合計画・介護保健事業計画と整合性を図りながら、引き続き公的病院としての役割を果たします。市内で完結できない医療機能の確保策については、他の医療機関との連携による枠組みや役割を検討します。加えて、上下地域においては、地理的状況を考慮して備北圏域の拠点医療機関からの診療支援を受けており、引き続きその連携に努めます。

●健診事業等の継続を通じ、市民の健康寿命延伸への協力・貢献が認められるが、医師数の増加が実現できず、健診等の受入拡大に関する指標の数値目標は達成できなかったことから、引き続き医師の増員による健診体制の強化に取り組またい。

●総務省が策定を求めている「公立病院経営強化プラン（中期計画）」について市の基本方針を踏まえた内容となっている。

●計画に定めた内容について、具体的な取組が不透明である項目が散見され、今後は具体的にどのような取組を行い、その成果はどうかであったのかを明らかにされたい。

●病院機構においては、両病院の機能を常に検証し、効率的な医療提供体制を検討し続けることが求められている。

●計画に定めた内容について、具体的な取組が不透明である項目が散見され、今後は具体的にどのような

・取り組むべき医師確保策

医師の招聘については、市との連携・情報共有を密にし、医師の派遣元である大学病院をはじめ、広島県や広島県地域医療支援センター等の行政機関や近隣の中核病院に対する協力（医師派遣及び診療支援）要請を継続するなど、必要な医師の確保に努めました。

市の医師育成奨学金奨学生は4人（研修医2人を含む）で、目標達成しています。

＜府中市民病院＞令和2年度常勤医師1人増（耳鼻咽喉科）、令和3年度常勤医師3人増（内科1人、外科2人）、令和4年度常勤医師1人増（泌尿器科）

＜府中北市民病院＞令和3年度非常勤医師1人増（眼科）

県の自治医については、府中市民病院は令和3年度から1人が継続派遣されており、府中北市民病院は令和5年度から1人が派遣されています。

・看護師養成機関等との連携

府中地区医師会准看護学院に講師として、令和4年度に閉校するまで、医師、看護師、臨床検査技師、放射線技師、理学療法士の派遣を継続しました。

令和5年度末時点、法人の看護師奨学金制度を利用中の学生は1人で、中期目標期間中に卒業し法人職員となった看護師は2人です。

取組を行い、その成果はどうであったのかを明らかにされたい。

●府中北市民病院では、備北圏域からの診療支援など、広域的な連携を図っているため、持続可能な連携体制が構築できることに期待が持てる。

●医師確保の取組により、減少していた府中市民病院の常勤医師数が回復傾向にあり、外科の手術再開・外科の救急受入が可能となったほか、診療科の充実が図られるなど、着実に医療提供体制の整備につながっている。

●府中北市民病院では市と連携して医師招へいに努めたことで常勤医師の減少を回避できた（自治医科大卒業医師の派遣実現）。中核病院への支援要請など、引き続き市と連携して医師確保に努められたい。

●看護師育成の奨学金制度や採用情報の周知だけでは十分な取組とは言えず、今後は病院機構全体で看護部の業務見直しや必要な看護師数の合意形成をしたうえで、看護師確保の目標や取組の過程、成

【中項目3 地域医療の促進に資するICT技術の活用の検討】

・ICT技術を活用した、新たな医療提供

両病院とも、コロナ禍の中でオンライン診療を開始しましたが、まだ対象患者は限定的であり、オンライン診療の今後の展開について市との協議が必要です。

・HMネットの普及促進

＜府中市民病院＞広島県内の医療連携におけるICTの活用として、「ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）」に情報開示及びHMカード発行病院として参加しています。HMカード発行枚数は、目標を大きく下回りました。

果を明確にされたい。

●オンライン診療や電話での薬の処方に対応するなど、新型コロナ感染拡大下での受診機会の確保に努めた。

●遠隔医療の導入などの新たな医療提供に関し、検討を行ったのかどうか不明。

●今後は全国的な課題であるサイバーセキュリティ対策にも万全を期されたい。

●HMカードの発行枚数は毎年度目標を大きく下回っており、周知活動のあり方や利活用策についてどのような検討を行ったのかが不明である。

【関連指標】

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院				
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)	令和5
1 市民病院として担うべき医療 【病院運営に関する指標】					
外来患者数（人）	307 158	264 175	302 154	300 140	303 146
入院患者数（人）	120 39	125 35	119 33	120 25	116 30
病床利用率（%）	80.9 64.4	83.8 59.5	79.3 55.2	80.0 41.6	77.7 49.2
(1) 救急医療対策					
時間外患者数（救急車除く）（人）	1,394 663	1,248 804	1,135 994	1,400 900	910 1,066
救急車受入件数（人）	488 169	506 207	570 232	570 230	495 231
(2) 災害時における医療対策					
防災・災害対策訓練	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0
防火訓練（回）	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2
防火用水（ℓ）	53,000 41,700	53,000 41,700	53,000 41,700	53,000 41,700	60,000 41,700

医薬品（備蓄）（日分）	無 3	無 3	無 3	無 3	2 3
飲料水（備蓄）（ℓ）	無 無	無 無	無 無	無 無	1 3
食料（備蓄）（日分）	無 3	無 3	無 3	無 3	1 3

指標	実績				
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)	令和5
1 市民病院として担うべき医療					
(3) へき地医療対策					
巡回診療 ※府中市民病院のみ 実施回数(人)	175	223	250	250	235
医師派遣(名) ※府中北市民病院へ常勤医師(内科)	1	1	1	0	0
(4) 周産期医療対策、小児医療対策					
婦人科外来(人)	2,749 429	2,490 337	2,327 319	2,400 300	2,308 319
婦人科検診(人)	809 77	828 82	685 75	700 70	731 75

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院				
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)	令和5
1 市民病院として担うべき医療					
(5) 在宅医療と介護等の連携体制（地域包括ケアシステムの構築に資する医療・介護サービス）					
退院時カンファレンス実施率（％）	53.2 88.9	53.2 70.2	75.2 63.2	75.0 63.0	62.3 52.4
紹介率	31.8 —	30.5 —	26.9 —	30.0 —	26.5 —
逆紹介率	19.8 —	15.9 —	14.0 —	15.0 —	15.8 —
訪問診療（回）	256 598	265 375	229 248	250 300	261 224
訪問看護（回）	2,915 1,915	3,138 2,214	3,200 2,381	3,200 2,300	2,988 2,301
訪問リハビリ（回）	1,848 1,853	2,013 3,429	2,022 3,911	2,000 3,900	2,119 3,496
通所リハビリ（回）	— 1,235	— 1,004	— 1,070	— 1,000	— 1,673
ささえ契約者数（人）	— 9	— 34	— 34	— 34	— 34
サ高住入居室数（室）	— 16	— 16	— 16	— 16	— 16
(6) 健診等の実施による疾病予防の推進					
人間ドック（人）	296 73	341 78	335 85	335 85	401 116

特定健診（人）	975 295	1,102 341	1,107 298	1,100 300	1,285 328
がん健診（人）	736 171	829 205	625 186	700 200	666 184
健康教室（回）	0 11	0 8	0 10	4 10	0 9

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院				
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)	令和5
2 病院の役割に応じた医療機能の確保					
(1) 市民病院の今後のあり方					
広島県地域医療構想を踏まえた検証	検証 —	報告 —	— —	— —	— —
(2) 今後の地域医療連携の方向性					
新たな地域連携の具体化	無 無	無 有	無 無	無 無	無 無
(3) 取り組むべき医師確保策					
医師の配置（人）	6	7	7	7	6
内科	2	2	2	2	2
整形外科	2	2	2	2	2
外科	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤
婦人科	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤
麻酔・救急科 ※府中市民病院のみ	1 —	1 —	1 —	1 —	1 —

小児科	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤
泌尿器科	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤
耳鼻咽喉科	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤
眼科	非常勤 —	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤
皮膚科 ※府中北市民病院のみ	— 非常勤	— 非常勤	— 非常勤	— 非常勤	— 非常勤
精神科 ※府中市民病院のみ	非常勤 —	非常勤 —	非常勤 —	非常勤 —	非常勤 —
(4) 看護師養成機関等との連携					
府中地区医師会准看護学院講師派遣（延べ人数） ※府中市民病院のみ	59	59	59	閉校	閉校

指標	実績				
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)	令和5
3 地域医療の推進に資するICT技術の活用の検討					
(1) ICT技術を活用した新たな医療提供					
オンライン診療の開始	開始 開始	継続中 継続中	継続中 継続中	継続中 継続中	継続中 継続中
(2) HMネットの普及促進					
HMカードの発行枚数（枚）※府中市民病院のみ	5	2	2	2	7

大項目3「業務運営の改善及び効率化に関する事項」

中期計画に定める中項目

- 1 市民から選ばれる病院づくり
- 2 組織としての経営の専門性の向上
- 3 業務管理（リスク管理）の充実
- 4 働きやすい職場環境の整備
- 5 人事制度の効果的な活用

	毎年度の大項目評価				中期目標期間評価	
	令和2	令和3	令和4	令和5	見込まれる評価	期間実績評価
自己評価 ※自己評価は小項目ごとに実施			○	○	○	○
市長評価	○	○	○	○	○	○

(評価基準) ◎：年度計画を上回って実施 ○：年度計画を順調に実施  
△：年度計画を十分に実施できていない ×：年度計画を大幅に下回っている

実績（取組、成果、課題等）及び評価の理由	府中市評価の特記事項
<p>【中項目1 市民から選ばれる病院づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者満足度調査の実施とそれに伴う接遇の向上 両病院とも、年1回患者満足度調査を実施するとともに、患者満足度向上のための研修会を開催しています。また、患者満足度調査の結果については、令和2年度の調査結果から市の広報誌「広報ふちゅう」に病院機構だよりとして掲載しています。令和4年度調査では、前年度に比較して満足度は5.3%上昇、不満足度も2.1%上昇しています。令和5年度調査では、前年度に比較して満足度は0.1%上昇、不満足度も0.1%減少しています。</li> <li>市民への積極的な情報発信 市の協力を得て、市の広報誌の特集記事「病院機構だより」として、年4回法人としての情報を発信しています。 ＜府中北市民病院＞上下地域の介護事業所等と協力して地域情報紙「ええじゃん上下」の発行を継続し、地元で根差した地域活動の紹介などに努めています。</li> <li>安心、安全な医療提供体制の確立については、両病院とも毎月、医療安全対策委員会を開催し、インシデント・アクシデントレポートを共有することで、職員全員の医療安全対策の意識を高めています。個人情報保護については、新入職員の研修会を始め、継続して職員を対象にした個人情報保護研修会を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●患者満足度調査により、概ね好評を得ている。</li> <li>●患者満足度調査は手段であって満足度の向上そのものが目的であることを念頭に、接遇研修などの取組を継続して実施し、市民から選ばれる病院となるよう努められたい。</li> <li>●eラーニングや動画視聴など、研修機会の確保に向けた工夫は評価できる。</li> <li>●市民への情報発信については、ただ情報を発信するのではなく、利用者へ欲しい情報が届くような取組に努められたい。 今後予定されている両病院のホームページリニューアルに期待するものである。</li> <li>●病院機構全体として、今後も安心、安全な医療提供体制の確立に努められたい。</li> </ul>

【中項目2 組織としての経営の専門性の向上】

法人設立時の市からの派遣事務職員は9人でしたが、法人設立から12年目の令和5年度には、全ての職員が法人職員となりました。そのうち法人外部の公的医療機関からの招聘は、府中市民病院の事務長、医事課長の2人です。

府中市民病院は、毎月2回開催する病院運営会議において、幹部職員による意見交換を活発化し、その会議で決定したことを毎月開催の各部署の代表者による病院代表者会議で共有することで、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標の達成に必要な改善に取り組みました。

府中北市民病院は、院長、事務長、看護部の三者協議を毎週1回定例で開催し、その協議結果を各部署の代表者が出席して毎月開催する病院運営会議で共有し、病院運営の安定を図る取り組みを進めました。

【中項目3 業務管理（リスク管理）の充実】

病院の使命を適切に果たすため、関係法令の遵守はもとより、行動規範と職員倫理の確立に向けた取り組みとして、両病院において毎年ハラスメントアンケート調査と研修会を実施しています。

【中項目4 働きやすい職場環境の整備】

職員満足度調査を実施することで、それぞれの病院で働く職員の仕事、職場環境や組織に対する満足度を把握し、働きやすい職場環境の改善に努めています。

【中項目5 人事制度の効果的な活用】

職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出されるよう、効果的な人事評価制度の導入に向け、引き続き人事制度の効果的な活用を検討します。

●他の医療機関での勤務実績が豊富な人材の確保が進んでいることなど、実施している取組については継続して取り組まれない。

ただし、経営の専門性を高めるための人材の育成についてはもう一段上の取組を求めたい。

●研修等が適切に実施されている。引き続き、関係法令の遵守や、行動規範と職員倫理の確立に向けて取り組まれない。

●職員満足度調査の結果を踏まえた職場環境改善や院内保育の整備など、仕事と子育ての両立に資する取組が進められている。

●3期が経過しても病院機構全体での制度設計が進展しておらず、他の地方独立行政法人の人事制度の活用事例を参考にするなどして、職員の意欲を引き出せる人事制度の構築に努められたい。

【関連指標】

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院				
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)	令和5
1 市民から選ばれる病院づくり					
(1) 患者満足度調査の実施とそれに伴う接遇の向上					
患者満足度調査実施回数（回）	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
(2) 市民への積極的な情報発信					
市の広報誌への掲載回数（回）	0	4	4	4	4
(3) 安心・安全な医療提供体制の確立					
医療安全対策委員会（回）	12	12	12	12	12

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院				
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)	令和5
2 組織としての経営の専門性の向上					
法人外医療機関から幹部職員の招聘（人）	0	1	0	1	1

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院				
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)	令和5
3 業務管理（リスク管理）の充実					
ハラスメントアンケート調査と研修会（回）	1 0	1 1	1 1	1 1	1 1

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院				
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)	令和5
4 働きやすい職場環境の整備					
職員満足度調査（回）	0 0	1 1	0 0	0 0	0 0

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院				
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)	令和5
5 人事制度の効果的な活用					
人事評価制度の導入	無 無	無 無	無 無	無 無	無 無

大項目4「財務内容の改善に関する事項」

中期計画に定める中項目

- 1 経営機能の強化による自立した病院運営
- 2 収入の確保と支出の削減
- 3 計画的な投資と財源の確保

	毎年度の大項目評価				中期目標期間評価	
	令和2	令和3	令和4	令和5	見込まれる評価	期間実績評価
自己評価 ※自己評価は小項目ごとに実施			○	○	○	○
市長評価	○	○	○	△	△	△

(評価基準) ◎：年度計画を上回って実施 ○：年度計画を順調に実施  
△：年度計画を十分に実施できていない ×：年度計画を大幅に下回っている

実績（取組、成果、課題等）及び評価の理由	府中市評価の特記事項
<p>【中項目1 経営機能の強化による自立した病院運営】</p> <p>公営企業型地方独立行政法人として、繰出基準に基づく市からの繰出(負担金)を除いては、企業の経済性の発揮による独立採算制を実現し、本中期目標期間中の経常収支の均衡の達成を目標にしています。</p> <p>各年度の経常収支比率について、令和2年度は96.9%で目標を未達成、令和3年度は102.6%で目標を達成、令和4年度は99.8%でわずかに未達成、中期目標最終年度の令和5年度は99.1%で目標達成は出来ませんでした。</p>	<p>●常勤医師数の増加や医療機能の拡充に伴い、医業収益の増加が図られてきたが、新型コロナウイルス感染症5類移行後に医業収益が悪化したことに加え、物価高騰や人件費の上昇に起因する費用の増加も相まって、令和5年度には物価高騰対策支援に加え市からの追加の財政支援を受けても経常収支の目標を達成できなかった。本中期目標期間は社会情勢が大きく変化し、病院経営に及ぼした影響を予測することは困難であったことは理解できるが、持続可能な医療提供体制の確保には、病院機構の財務基盤の安定が欠かせない。</p> <p>●両病院の収益の悪化に対し、迅速に対策を講じることができたかについて検証し、その反省を今後の病院経営機能の強化に活かす必要があるため、中期計画にあった「類似する他病院との比較などによる経営上の課題の把握と改善」に取り組み、その結果については市との共有を図りたい。</p> <p>●職人体制の効率化を一部で始めるなど、地方独立行政法人の強みを活かして給与費の増加抑制に努めた点については評価する。</p>

### 【中項目2 収入の確保と支出の削減】

第3期中期計画期間は、両病院とも長引くコロナ禍での業務となり、職員や患者の感染による院内感染対策のための診療制限など、収入減となる要因が大きい中での経営となりました。

#### ＜府中市民病院＞

医業収支比率は、毎年度、良い方向で推移しています。

入院収益は、令和3年度に前年度を下回りましたが、令和4年度には回復しています。

外来収益は、令和2年度に前年度を下回りましたが、令和3年度以降は順調に回復しています。

費用については、給与費は増加傾向ですが給与費比率は下降、材料費については収益に比例して増加していますが材料費比率はほぼ一定、減価償却費は建て替え時に取得した資産の償却がほぼ終わったため大きく減少しています。

令和5年度は、年度初めの入院収益減少傾向がありましたが、徐々に回復し、前年度同月比較ではほぼ同程度まで回復しています。

#### ＜府中北市民病院＞

医業収支比率は、令和3年度から悪化傾向になっています。令和5年度は入院収益の大幅な減収により、過去最悪の収支が見込まれましたが、これは回避できました。

入院収益は、減少傾向にありましたが、令和3年度に大きく減少し、その傾向が継続しています。

外来収益は、令和2年度に前年度を下回りましたが、令和3年度以降は増加傾向にあります。

費用については、給与費は増加傾向で給与費比率も上昇、その他の経費についてはほぼ一定の比率を維持しています。

令和5年度は、患者の減少傾向による医業収益の悪化に対応するため、医業費用の削減に取り組む1年となりました。単年度の効果的な対応として給与費の削減に取り組むとともに、病院内の全ての職員の職員配置の検討と看護部の業務見直しに取り組みました。令和6年度に向けて臨時職員の体制については、臨時職員賃金の約4割削減を目標に取り組みました。

### 【中項目3 計画的な投資と財源の確保】

市と調整して病院の設備投資の財源に過疎対策事業債を充当するようにし、長期借入金残高の削減に努めました。高額な投資として、府中北市民病院の屋上防水工事や空調設備工事などを行いました。

両病院とも医療機器の更新については、耐用年数と使用頻度を考慮し、計画的に行いました。主な更

●診療報酬改定への対応や検証などについては着実に取り組まれているので、取得可能な診療報酬の加算などに積極的に取り組まれない。病院機構全体として、引き続き経常収支黒字化に向け取り組まれない。

●経営改善に向けては、市と病院機構で定めた医業収益の目標を達成していくことで保有資金を増やすことがその第一歩である。収益確保の具体策（なにを・いつから・効果額）をとりまとめ、常にその進捗を市と協力して確認し、必要に応じて改善を図られたい。

●市と協議して有利な財源の確保に努めるとともに、優先順位をつけて設備投資を行うなど、計画期間中の設備投資総額内に納める工夫がなされていた。

新機器については、以下のとおりです。

<府中市民病院>

令和2年度 自動遺伝子解析装置、多用途透析用監視装置、電動ベット 20 台

令和3年度 マンモグラフィーシステム、臨床化学自動分析装置、セントラルモニター式、超音波診断装置、上部消化管汎用ビデオスコープ 2 台

令和4年度 多用途透析用監視装置、内視鏡用光源装置、超音波診断装置、薬局システム、電動ベット、大腸ビデオスコープ

令和5年度 医事会計システム&健診システム、超音波画像診断装置、移動型X線装置、多用途透析用監視装置 7 台

<府中北市民病院>

令和2年度 眼科医療機器一式、自動分析装置、多用途透析用監視装置

令和3年度 屋上防水工事、セントラルモニター式、内視鏡、外科用X線イメージ装置

令和4年度 上部消化管ビデオスコープ、内視鏡システム、電話交換機一式

令和5年度 空調設備工事、医事会計システム、人工腎臓装置、荷物用（給食）エレベーター

【関連指標】

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院				
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)	令和5
1 経営機能の強化による自立した病院運営					
※法人全体					
経常収支比率 (%)	96.9	102.6	99.8	96.1	99.1
医業収支比率 (%)	96.7	102.5	99.6	81.7	98.7
経常収益に対する市の繰入金比率 (%)	12.4	11.8	10.5	10.9	12.3
市の繰入金額 (千円)	473,129	467,325	409,432	406,900	476,900
指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院				
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)	令和5
2 収入の確保と支出の削減					
※各病院 ※市の繰入金を除く					
医業収益 (百万円)	2,313	2,457	2,451	2,590	2,347
	962	976	947	832	929
入院収益 (百万円)	1,369	1,363	1,419	1,419	1,374
	524	513	474	324	422
外来収益 (百万円)	759	820	826	826	815
	332	339	346	346	326
経常収支比率 (%)	86.2	94.0	93.3	97.9	88.7
	82.9	84.1	81.4	68.7	83.4
医業収支比率 (%)	82.4	86.9	88.2	88.2	85.1
	81.9	82.5	79.3	66.9	75.8
給与費比率 (%)	79.7	77.9	76.0	76.0	79.0

	77.7	76.2	80.3	95.6	82.1
経費比率 (%)	20.4	19.3	20.1	20.1	21.4
	19.1	19.9	20.7	24.7	22.7
材料費比率 (%)	12.9	12.9	13.1	13.1	12.5
	10.9	10.7	10.6	11.8	10.6
委託料比率 (%)	9.8	9.7	9.8	10.6	10.6
	8.8	8.8	8.9	8.9	9.6
減価償却費比率 (%)	7.3	4.5	3.5	3.7	3.8
	13.5	13.4	13.3	17.0	15.2
指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院				
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)	令和5
3 計画的な投資と財源の確保					
計画額(千円)	535,000				
実績額(千円)	74,036	186,029	188,551	86,384	121,680
長期借入金年度末残高 (百万円)	2,049	1,761	1,644	1,499	1,516
長期借入金年度末残高 (百万円) (再掲：運営費貸付金)	350	350	350	350	350

大項目5「その他業務運営に関する重要事項」

中期計画に定める中項目

1 市の健康福祉関連施策への積極的協力

	毎年度の大項目評価				中期目標期間評価	
	令和2	令和3	令和4	令和5	見込まれる評価	期間実績評価
自己評価 ※自己評価は小項目ごとに実施			○	○	○	○
市長評価	○	○	○	○	○	○

(評価基準) ◎：年度計画を上回って実施 ○：年度計画を順調に実施  
△：年度計画を十分に実施できていない ×：年度計画を大幅に下回っている

実績（取組、成果、課題等）及び評価の理由	府中市評価の特記事項
<p>【中項目1 市の健康福祉関連施策への積極的協力】</p> <p>両病院とも、市の医療・健康・福祉関連施策に対して積極的に協力しました。コロナ禍における感染対策についても、公的医療機関としての役割を果たしました。</p> <p>＜府中市民病院＞</p> <p>コロナ対策においては、いち早く発熱外来を開始、また県の要請に応じてコロナ病床を確保し、患者の受け入れを行いました。コロナワクチン接種についても、積極的に協力しました。また、乳幼児の集団健診が出来なくなったとき、病院での個別健診を実施しました。今後の感染症拡大時に備え、市の補助を得て、病院敷地内にコンテナハウスを設置しました。市の健診事業については、引き続き病院での個別健診を実施しています。</p> <p>また、市が企画した健康づくり講演会（フレイル予防）に理学療法士を派遣するとともに女性を対象とした保健事業では、病院内に「女性予防医学チーム」を立ち上げ、婦人科の常勤医師を中心に市の担当課と連携した啓発活動を行っています。</p> <p>＜府中北市民病院＞</p> <p>上下地域の公的医療機関として、病院でのコロナワクチン接種について、積極的に実施しました。市の健診事業においては、引き続き病院での個別健診を実施する体制を維持しています。介護予防について、フレイル予防のための講演会などに、医師が積極的に参加しています。</p>	<p>●府中市民病院では、女性予防医学チームを立ち上げ、市の保健事業と連携して講演会に講師として婦人科医師を派遣した。</p> <p>府中北市民病院では、フレイル予防のため、院長を中心に講演会を開催するなどの取組がなされている。</p> <p>●コロナ禍において、早期からPCR検査機器を新たに導入しての検査対応、発熱外来による診察受入、専用病床の整備による入院治療の実施、府中地区医師会と連携し、ワクチンの集団接種や個別接種への協力などへ積極的に協力したことを高く評価する。</p>